

等向けに「見学会・講習会」を開催しました。

・今回は、宇都宮総合運動公園内に整備された陸上競技場「カンセキスタジアム」と水泳場「日環アリーナ栃木」、市民スクエア「オリオンプラザ」及び「さいたまスタジアム2002」の見学を行いました。また、施設間のバス移動の時間を活用し膜構造の概要、利点などについての講義が行われました。

・参加者は、15名ほどで昨年度に比べると少ない参加者でしたが、活発な質疑応答も有り密度の高い見学会でした。

【2】 膜構造ジャーナル2021 研究論文について

・膜構造ジャーナルの研究論文投稿は、今年度1回目の投稿受付を昨年9月で締め切り、5件の投稿がありました。

・審査委員による審査が終了次第、膜構造ジャーナル2021「研究論文集」として、当協会HPに掲載します。過去の研究論文集もこのページからご覧いただけます。

<http://www.makukouzou.or.jp/paper/article-link/>

・また、今年度第2回目の投稿募集を開始していますので、多くの皆様からのご投稿をお待ちしております。詳しくは当協会HPの募集案内をご覧ください。

http://www.makukouzou.or.jp/blog/wp/wp-content/uploads/2021/12/journal2021-2_boshu.pdf

・なお、膜構造ジャーナルには、「技術情報」として、竣工情報、新技術紹介などの投稿も受け付けておりますのでご検討ください。

【3】 定期点検者講習・膜施工管理技術者講習について

・コロナ感染症の拡大防止のため、開催を延期しておりました定期点検者講習については1月13日に実施することとしました（既に受講申込は締め切っています）。

・会員の膜構造建築物の品質向上に向けた一連の取り組みの一つとして、膜体加工工場登録及び膜施工管理技術者登録制度とともに実施しているもので、講習、考査を経て合格者は当協会HPに掲載しています。

<http://www.makukouzou.or.jp/quality/ensure/>

・膜施工管理技術者講習についても開催を延期しておりましたが、2月2日、3日に実施することとなりました（既に受講申込は締め切っています）。

【4】 技術標準などの見直し作業を開始

- ・昨年10月より、日本膜構造協会において定めた膜材料・膜構造に係る技術標準等の見直し作業を開始しました。
 - ・今回の見直しは、2017年の国土交通省告示改正に伴い、膜構造用フィルムが新たに建築材料として使用できるようになったこと、技術標準が定められてから長い時間を経過しており、その後の技術の進展や社会情勢に合わなくなっている部分があることなどを背景に無直すものです。
 - ・今回見直しに着手したのは、膜材料、膜体加工、施工管理及び維持管理に係る標準・指針類で、それぞれの分野ごとに会員各社からの委員で構成するワーキングチームを設けて協議・作業を行い、今年の秋には取りまとめる方針です。
 - ・引き続き皆様のご協力をいただくとともに、ご意見など頂戴できればと思いますので宜しくお願いします。
-

【5】 膜体加工工場登録制度の充実を検討

- ・品質の高い膜構造建築物の供給に向けた当協会としての取り組みの一つである、膜体加工工場登録制度について、一層の充実に向けた見直しを行うことが理事会において了承されました。
 - ・今回の見直しは、より高い品質を目指して取り組む会員がアピール出来る制度とすること、及び膜構造用フィルムの加工について審査登録を行うことを目的として行うもので、上に述べた技術標準等の見直し作業の進捗に合わせ、順次登録制度に反映していく方針で、一部は来年度からのスタートに向け検討していく方針です。
-

【6】 その他

- ・このメールニュースは、膜協会の皆様、膜協の事業のご案内先としてご登録いただいた皆様などにお送りしています。社内などでご興味のある方にも転送いただければ幸いです。
- ・なお、今後受取りをご希望されない場合は、事務局までご連絡ください。

(info@makukouzou.or.jp)

・当協会では引き続き、在宅勤務の機会を増やしております。皆様にはご不便をおかけすることもあるかと思いますが、ご質問、事前協議などについては、メール、協会HPの問い合わせページ等をご利用いただくようお願い致します。ご理解賜りますようお願い申し上げます。

一般社団法人 日本膜構造協会 事務局

〒104-0041 東京都中央区新富 2-1-7 富士中央ビル

Tel 03-6262-8911 Fax 03-6262-8915